

特定非営利活動法人 教育研究所

事業概要	子供食堂、学習支援、第三の居場所の三つの機能を持った子供の活動支援の場を、空き家を活用して作る事業です。施設のあり方を子供達と共に考え、その空間化を大学と設計事務所が連携してサポートしました。
事業者情報	
団体名	特定非営利活動法人 教育研究所
所在地	富山県黒部市宇奈月温泉5509-16
設立時期	2003年12月
団体HP	https://kyoken.org
活動地域	富山県黒部市三日市
事業スキーム	富山県黒部市三日市 子どもの活動支援の場 三つの機能併設が特徴 学習支援 ハード 第三の居場所 子供食堂 立案 ↑ 改修 子ども達も実際に改修に参加 メンバー 子ども達 コーポラティブリノベ (利用者主体改修) 教育研究所 富山国際大学 協働 TOMORi 場づくりサポート 子ども達と対話しながら改修内容を立案し、実際に施工しました 凡例 ■ ...実施事業者 ■ ...利用者 ■ ...連携先
取組内容及び成果	
目的	コミュニケーションによって地域住民の理解を深め 子ども支援事業の応援と地域の空き家活用促進に繋げる
取組フロー図	地域住民の理解度 底 → 高 時間軸 調査 子どもニーズ調査 空き家ハード調査 地域空き家調査 立案 改修案作成・調整 コミュニケーション 活動報告会 SNS 意見交換会 活動報告ツール 活動報告会 実施 子ども居場所イベント開催 改修工事DIYイベント開催 凡例 ■ ...活用のための活動 ■ ...理解を深めるための活動 → ...情報の流れ

子どもたちと創る みんなのいばしょ

1

子ども居場所イベント



夏休み期間を利用し、空き家を使って子どもの居場所・子ども食堂のイベントを開催しました。運営を通じて子どもたちが好きな活動や運営者のやりたい事などが見えてきました。施設名は子どもたちにも考えてもらい「ニコニコ夢食堂」に決まりました。

2

子どもニーズ調査



子どもたちと一緒に、ニコニコ夢食堂でどんな活動をしたいかを考え、平面図に希望を書き込みました。また、子どもの居場所イベントでの活動の様子も観察し、子どもたちが好きな活動と事業者がやりたい活動を把握していきました。

3

改修案作成



イベントでの子どもたちの活動と事業者の支援活動への思いをもとに改修案を考えました。イラストは案の一例で「みんなで使えるアイランドキッチン」です。子どもたちがみんなと協力しあって、食事を作るところから片付けるまでを楽しんで行うための工夫です。

子どもたちと創る みんなのいばしょ

4

空き家ハード調査



活用する空き家の状態を調査しました。間取りや部屋の寸法、高さ、仕上げなどを記録し、情報を活用できるように図面化しました。

5

地域空き家調査

地図調査			現地調査		
※4-5年前のデータ			※2023年10月27日時点		
エリア	空き家	比較	エリア	空き家	
大町	18	+4	大町	22	
栄町	2	+2	栄町	4	
寺町	14	-1	寺町	13	
東三日市	39	-8	東三日市	31	
三島町	21	+15	三島町	36	
合計	94	+12	合計	106	

黒部市三日市地区の5町内を対象に、住宅地図による空き家数調査と現地目視による空き家数調査を実施しました。三日市地区5町内の空き家の増加数を把握できました。

6

活動報告会

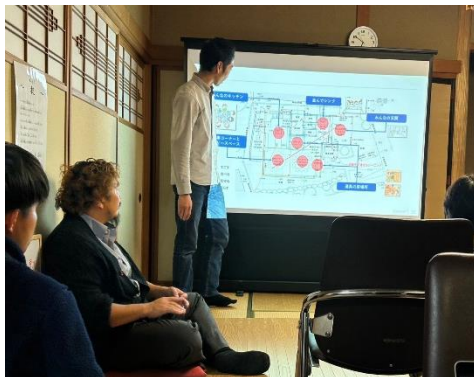


「空き家活用座談会」として地域住民さん向けに活動報告会を開催しました。活動予定や実績を聞いていただくと共に、参加者さんに「どうしたら地域の空き家が動き出すのか」を考えてもらい、意見を聞くことができました。なお、活動完了後の報告も要望があり、近く行います。

子どもたちと創る みんなのいばしょ

7

意見交換会



子どもたちと保護者さん、地域住民さんに向けて改修のアイデアを発表し、意見を聞きました。画面の赤い点が改修場所です。子どもたちの様子、意見、予算を考慮して、改修箇所はアイランドキッチンにすることにしました。

8

DIYイベント



子どもたちと一緒にアイランドキッチンをDIYで作りました。設計事務所がデザインし、工務店に下準備と技術指導を行なってもらい、大学がイベント運営をして作りました。

9

SNS・活動報告ツール



各活動の予告や様子の報告をSNSで発信しました。また、今回の事業活動を知ってもらい、空き家活用の促進に繋げるために活動報告ツールとしてパネルとリーフレットを作成しました。